

様式（第6条関係）

会 議 録

会 議 名	第23期小金井市公民館企画実行委員の会議 第24回		
事 務 局	小金井市公民館 緑分館		
開 催 日 時	平成28年7月5日（火）午前10時～12時		
開 催 場 所	小金井市公民館 緑分館 集会室		
出 席 委 員	大野委員、金田委員、森実委員、山本委員、吉田委員		
欠 席 委 員			
事 務 局 員	大野主査、渡辺主事、山本(非常勤)		
傍 聴 の 可 否	可	傍聴者数	なし
傍聴不可・一部不可の場合は、その理由			
会 議 次 第	1 報告事項 (1) 第24期企画実行委員の応募状況について (2) 緑センターまつりについて (3) 成人学校「庭木剪定入門」について (4) 子ども体験講座「野川生き物観察」について (5) 成人学校「ハーブ教室」について (6) 夏休み学習室について 2 協議事項 (1) 第24期企画実行委員への引継ぎ事項 3 その他		

会議内容

(司会) 吉田委員

司会：第24回の企画実行委員の会議を始めます。お手元の議事次第にのっとり進行いたします。まず、報告事項についてお願いいたします。

1 報告事項

(1) 第24期企画実行委員の応募状況について

大野分館長：6月21日に本館にて企画実行委員の調整会議が行われました。緑分館は、継続の方2人と新たに応募いただいた4人で定員の6人が揃いました。6人中1人が女性です。ちなみに、他の館ですが、本館、貫井南分館、東分館はそれぞれ6人の企画実行委員が調整会議では決定しております。貫井北分館は、2名決定しましたが、追加募集をすることにいたしました。

司会：では、緑センターまつりについてお願いいたします。

(2) 緑センターまつりについて

大野分館長：6月23日に行いました緑センターまつりの反省会についてです。当日欠席された企画実行委員の方もいらっしゃいますので、大まかにご報告させていただきます。まず、反省会が始まる前に、発表部門の方が、センターまつりの最終日、手違いで演奏時間が伸びたため、閉会式の開始が遅れてしまったことを謝罪されました。次に、センターまつりに参加された団体からの感想、反省です。展示するパネルが増えたので展示しやすかった。毎年参加しているけれども、メンバーの高齢化にともない、年々パネルの運搬、設置が難しくなっている。パネルを運搬する際、人が多すぎて危なかったのも、手順等を示して欲しい。当日使用する机がなかったので、急遽借りた。今年はゆったりしたスペースで展示することができた。来年はもう少し展示する作品数を増やしたい。例年通り順調だった。パネルの設置や撤去に時間がかかって、他の団体からパネル運びを優先するようにと注意された。会の男性メンバーが、他の団体のパネル運びだけではなくそれ以外のことも手伝った。新人二人も出演して大変有意義な時間だった。演奏が長引き、片付けを待っていただいて申し訳なかった。発表中に入入りした方がいて、とても気になった。マナーとして、発表の合間に出入りして欲しい。出演時間が日曜日の記念イベントの後だが、今年は、時間に余裕があってよかった。会場案内を作っていたのもよかった。二階の更衣室の場所がわからない人がいたので、一階に案内を掲示して欲しい。今年は、センターまつりと市民コーラスの日程が重なって、センターまつりに参加できないコーラスの団体もあったので、できればセンタ

一まつりの日程をずらして欲しい。出演の順番が前後の団体は、お互いの演奏を聴くという暗黙の了解のようなものがあったが、今年は、自分達の出番が終わると殆どの人が帰ってしまったので残念だった。今年は部屋の都合で、準備を前日の夕方に行ったが、事前に連絡をいただいて、必要な机等が揃っていれば、準備は前日の夕方でもかまわない。自転車当番の引継ぎがとても上手くいった。中庭の駐輪場の案内がもう少しわかりやすければよかった。日曜日は入場者数が少なかったため、食材が余ってしまった。午前中は雨が降って屋内での販売となってしまったが、午後からは、天候が回復し、順調に販売することができた。客席が狭かったため、グランドピアノを移動させた。各団体からは、このような意見、感想、反省などが出ました。全体の意見としましては、今年度は準備会が2回実施されたが、今後も2回でいいと思う。準備会に参加しない団体があるのは不公平だ等の意見がありました。全体的には、センターまつりは、概ね成功だったという評価をいただきました。

司会：私も反省会に参加しましたが、ポイントが四つあったと思います。一つは入場者数が少なかったことです。他のイベントと重ならないように日程を調整したり、PRの方法を考え直したりする必要があると思います。二つ目は、まつりの準備についてです。女性の参加者も多いですし、段取りをきちんと決めておく必要性を感じました。三つ目は、センターまつりの実行委員長が決まらなかったことです。四つ目は、センターまつりに参加する団体には、準備会や反省会に必ず出席してもらうよう徹底するべきだと感じました。それと、企画実行委員の方々も、準備会や反省会に積極的に参加されて、色々な意見をお聞きになった方がいいと私は感じました。

では、次の庭木剪定入門についてお願いいたします

(3) 成人学校「庭木剪定入門」について

大野分館長：5月23日から毎週月曜日6回にわたって実施いたしました。定員20人に対し、申込みが30人ありましたので、講師と相談して、定員を3人増やし、23人の申込みを受け付けました。雨が降ったため、予定していた屋外での実技の講座が思うように実施できなかったのが残念でした。例年、庭木剪定サークルの方がボランティアで講座のお手伝いをしてくださっているのですが、今年は講座に参加された方々のなかから、3人がサークルに加入されました。

山本：今回は女性の参加者はいらっしゃいましたか。

大野分館長：今回は9名いらっしゃいました。

司会：では、子ども体験講座「野川生き物観察」についてお願いしま

す。

(4) 子ども体験講座「野川生き物観察」について

大野分館長：6月11日の土曜日、午前10時から実施しました。定員は25人でしたが、それを上回る申込みがありましたので、講師と相談して30人の申込みを受け付けました。参加者は、各自で獲った生き物を水槽に入れて、それについて講師から解説を聞き、みんなで観察をしました。親子での参加ですので、子どもよりお父さんの方が熱心に生き物を獲る場面も見られ、とても微笑ましかったです。子ども体験講座にふさわしい講座だと感じました。

司会：講座に参加された渡辺さん、感想をお願いします。

渡辺：ずっと雨が降ってなくて、野川の水量がかなり少なかったので、生き物も少ないように感じました。

司会：次に、ハーブ教室についてお願いします。

(5) 成人学校「ハーブ教室」について

山本非常勤：5月6日から隔週の金曜日に5回実施いたしました。この講座は毎年人気で、今年度も定員を上回る人数の申込みがありましたので抽選を行いました。ハーブのための土作り、栽培方法、ハーブを使った消臭スプレーやラベンダーステックの作り方、ハーブを使った料理を学びました。参加者には、講座のなかでハーブの種を撒いて、自宅に持ち帰って育てていただいたのですが、その成長具合を報告しあったり、情報を教えあったりして、参加者同士とても仲良くされている様子が見られてよかったです。

司会：担当された森実委員はいかがですか。

森実：講師が持ってきてくださったハーブの種や苗を植えるところから始まり、それらを参加者が持ち帰って育て、最後はハーブを使った調理まで学べて、面白い講座だと思いました。少しずつリニューアルしながらやっていけば、メインの講座になるのではないのでしょうか。ただ、男性の参加者が1人もいなかったのは残念でした。

司会：では、次に夏休み学習室についてお願いします。

(6) 夏休み学習室について

山本非常勤：毎年実施しておりますが、夏休み学習室として7月22日から8月31日まで学習室Aを開放します。

司会：その他、何かありますか。

大野分館長：生活日本語教室ですが、年間のスケジュールに沿って実施しているところです。6月18日には発表会がありまして、学習

者が日頃の学習の成果を発表されていまして。私も発表会を拝見いたしました。みなさんが1年の成果を一生懸命発表されていて、とてもいい場だと思いました。また、7月2日には七夕まつりを実施いたしまして、短冊を書いて笹の葉に飾るなどして、日本の文化に触れていただきました。

それから、農園の親子とうもろこしコースですが、最終の収穫日が一週間早まりまして、7月9日になりました。とうもろこしも順調に育っております。

2 協議事項

(1) 第24期企画実行委員への引継ぎ事項

大野分館長：7月20日で任期が切れる企画実行委員の方が3人いらっしゃいますが、24期の企画実行委員の方への引継ぎ事項がございましたらお願いします。

森実：国際交流イベントについてですが、今までの日本人が外国のことを学ぶだけの国際理解講座ではなく、先日実施されましたインドネシアの講座のように、外国の方と日本人が交流できるような講座を他館に先駆けてやって欲しいと思います。

吉田：私は、公民館は、高齢者の拠り所といいますか居場所であることに意義の一つがあると再認識しましたので、これからもそういう場所であり続けて欲しいと思います。

大野分館長：金田委員、森実委員、吉田委員、長い間お世話になりました。ありがとうございました。

次回 平成28年8月2日（火）午前10時から
公民館緑分館集会室

以上

